

事務事業名		軽自動車税の賦課事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目					
	施策名	健全な財政運営の推進			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和25 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	安定的な財源確保					01	02	02	01	02	
根拠法令		地方税法等										
所属	部課名	総務部税務課										
	課長名	熊澤 正彦										
	係 名	諸税係	電話	27-3111								
	担当者	佐藤 世紀	内線	170								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
軽自動車税を適正に賦課する事務 主な業務は以下のとおり 毎月 ①軽自動車協会から送付される軽自動車税申告書の受理及び内容確認、②申告内容の電算入力 随時 ①標識交付申請書の受理、ナンバープレートの返納、申請書の内容確認 ②ナンバープレート等の交付、③不存在の原付バイク等を調査及び更正処理 ④被災車両に対する課税除外及び代替車両に対する非課税申請受付(23年度～) 年次 ①電算入力リストの作成及び内容確認、②電算による賦課計算、③各種帳票を出力及び内容確認 ④各種帳票の封詰、発送、⑤調定、⑥減免申請書の受理及び審査、⑦減免の可否を決定 ⑧減免の決定内容を申請者に通知、⑨減免額の調定 事業費は、県内の軽自動車税に係る申告書の共同事務処理の分担金として支出される。					総投入量	国庫支出金	都道府県支出金	地方債	その他	一般財源	事業費計(A)	0
		事業費	内訳							事業費計(B)	0	
		(千円)								トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

軽自動車税申告書の受理及び賦課・調定を行った。
 東日本大震災の被災車両に係る軽自動車税の課税除外及び非課税申請の受付・審査・決定を行った。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同様

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 課税対象となる軽自動車数	台
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 軽自動車税の納税義務者数	人
キ 東日本大震災に係る軽自動車税の非課税決定台数	台
ク 東日本大震災に係る軽自動車税の課税除外決定台数	台
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
サ 軽自動車税の調定額	千円
シ 東日本大震災に係る軽自動車税の非課税決定額	千円
ス 東日本大震災に係る軽自動車税の課税除外決定額	千円

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費 投入量	年度 単位	23年度(実績)							24年度(実績)							25年度(実績)							26年度(実績)							27年度(実績)							28年度(目標)						
		国庫支出金 千円	都道府県支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	一般財源 千円	事業費計(A) 千円	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	国庫支出金 千円	都道府県支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	一般財源 千円	事業費計(A) 千円	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	国庫支出金 千円	都道府県支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	一般財源 千円	事業費計(A) 千円	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)						
⑤活動指標	ア	台	13,662		14,736		14,943		16,396		16,594		16,650																														
⑥対象指標	イ																																										
⑦成果指標	ウ																																										
⑥対象指標	カ	人	9,674		10,552		10,541		11,557		11,567		11,600																														
⑥対象指標	キ	台	73		433		68		32		10		0																														
⑥対象指標	ク	台	793		53		15		4		7		0																														
⑦成果指標	サ	千円	64,925		72,798		73,000		87,162		88,754		104,000																														
⑦成果指標	シ	千円	378		2,641		407		170		53		0																														
⑦成果指標	ス	千円	3,616		230		42		11		24		0																														

事務事業ID	0027	事務事業名	軽自動車税の賦課事務
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			昭和25年に地方税法が制定されたことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			ユーザーの低燃費志向や税制改正を理由に軽自動車の所有が増加しており、軽自動車税は增收傾向にある。 二輪車等(原動機付自転車、二輪の軽自動車、二輪の小型自動車、ミニカー、小型特殊自動車)は平成27年度から新税率を適用する予定であったが、適用開始を1年延長した。 四輪及び三輪の軽自動車で、平成27年4月1日以降に初めて車両番号の指定を受けた車両は、平成27年度から新税率が適用。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			コンビニエンスストアでの納付を希望する者が増えている。
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 適正課税により、自主財源の確保に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 地方税法の規定に基づく市の固有事務である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 地方税法及び大船渡市税条例に規定がある。
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 地方税法及び大船渡市税条例の規定に基づく事務であり、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 地方税法及び大船渡市税条例の規定に違反するとともに、自主財源の確保ができないくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↗ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↗ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 地方税法及び大船渡市税条例に規定がある。
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業費は、全国軽自動車協会連合会と岩手県市長会・町村会が締結した課税客体に関する委託業務に対しての当市の分担金等であり、県内全域での共同処理に係る経費であることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 納税通知書の作成及び発送作業が短期間(約1ヶ月)に集中するため、適正な事務を行う上でも現状の人員及び業務時間を確保する必要がある。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↗ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↗	⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 地方税法及び大船渡市税条例の規定に基づく事務であり、公平・公正である。
公平性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		

事務事業ID	0027	事務事業名	軽自動車税の賦課事務
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方針性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																												
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	全体として適切な事務であり、見直しの余地はない。																																
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																												
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																												
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																												
④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																												
(3) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																																												
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(上記方向性に対する具体的な内容) </td> </tr> <tr> <td colspan="5">特になし。</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善)					(上記方向性に対する具体的な内容)					特になし。					<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●	×		低下	×	×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持																																										
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善)																																														
(上記方向性に対する具体的な内容)																																														
特になし。																																														
		コスト																																												
		削減	維持	増加																																										
成果	向上																																													
	維持	●	×																																											
	低下	×	×	×																																										
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等				特になし。																																										

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	総務部税務課長	熊澤 正彦
---------------	-------	---------	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合		(3) 評価結果の根拠と理由																																				
<p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>		全体として適切な事務であり、見直しの余地はない。しかし、平成29年4月以降の大幅な制度改正による関係事務の増加が見込まれる。																																				
(2) 2次評価者としての評価結果		(4) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)																																				
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●	×		低下	×	×	×
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
		コスト																																				
		削減	維持	増加																																		
成果	向上																																					
	維持	●	×																																			
	低下	×	×	×																																		
(5) 改革・改善による期待成果																																						
<p>平成28年度以降、税制改正により大幅な増収が見込まれる状況である。経年重課については登録月日の確認など、これまでにない事務も発生することから、誤課税防止のためにも、入力やチェック作業などについて注意を怠らずに進めることが肝要である。</p>																																						

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項	
---------------------	--